



燦たり東郷

北九州市立東郷中学校 学校通信
令和7年度 第2号 (R7, 5, 14 発行)
発行者: 校長 飯田 聖二



小中一貫教育モデル校の指定を受けました

今年度、北九州市教育委員会より、東郷中学校区の4校（東郷中学校、大積小学校、白野江小学校、柄杓田小学校）が、門司区の小中一貫教育モデル校の指定を受けました。

「小中一貫教育」とは、『小中学校が、9年間を通じて協同で教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育』（北九州市小中一貫・連携教育基本方針より）となっています。児童生徒の実態や校区の特色等をふまえ、校区の小学校と中学校とが協力し、義務教育9年間で子どもを育てていくというものです。

昨年度は、子ども同士の交流として、3小学校の合同スポーツ大会を本校で開催し、2年生（今の3年生）が、スポーツ大会の進行・運営を担当しました。真面目に運営するのはもちろん、優しく声掛けをしてくれたので、小学生からは大変好評でした。また、小学校の校長先生からも、たくさんお褒めの言葉をいただきました。

その取組として

5月30日（金）に、全校生徒で、校区の小学生に読み聞かせを行います。

1年生は大積小学校へ、2年生は白野江小学校へ、3年生は柄杓田小学校へ行きます。

4月24日の「子ども読書の日」から、取り組みを始めました。その日の様子を裏面に載せています。学校図書館職員が用意した本の中から、グループごとに読み聞かせをする本を選び、練習を行っています。

当日、みなさんのお兄ちゃん、お姉ちゃんぶりを楽しみにしています。

<保護者の皆様へ>

小中一貫教育モデル校の指定を受け、今まで以上に、校区の小学校と力を合わせ、子どもたちが安全で安心して通える学校づくりを推進します。そのために先生同士の交流、子ども同士の交流、保護者・地域との交流を通して

- ①児童生徒の学習意欲や学力・体力の向上
- ②小学生の中学校進学に対する不安軽減や期待感の向上
中学生の自尊感情の向上

③安全・安心な学校づくりの推進、地域への愛着や思いやりの心の育成を目指します。

今後とも、情報発信に努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



子ども読書の日

小中連携活動の一環として、5月末に行う、小学校への読み聞かせへ向けて、本を選びました。



どんな本を呼んであげようかな

